

事 項	阿木公民館運営委員会会議
日時場所	令和4年10月13日(木) 阿木公民館 小会議室 15:00~16:30
出席者	出席委員 5名、欠席委員 2名、事務局員 2名
<p>○委員長あいさつ ○公民館長あいさつ</p> <p>議題</p> <p>1 阿木公民館の現状について(報告) 2 提言書について 3 その他</p>	
<p>議題</p> <p>1 阿木公民館の現状について(報告)</p> <p>事務局 新しい公民館になって R4 年で3年目になりますがコロナの関係もあって、利用者は減少しているのが現状。ただし、コロナが落ち着きをみせており徐々に回復傾向にあります。</p> <p>委員 H30年度は利用者が減少しているようだが。</p> <p>事務局 新館開館前で準備の影響もある</p> <p>2 提言書(案)について</p> <p>会長 今回提言書(案)を議題として出したのは、人生 100 年時代を迎えている中、コミュニティのつながりも薄れ、地域の文化遺産も整備が進まず、各種文化の次世代への継承がうまくいっていない。「阿木に住んでよかった」という阿木にしていくために、提言書の素案を作成した。皆さんに協議していただきたい。</p> <p>委員 公民館活動は難しい時代にはいつている。提言書の内容は中々難しいところもある。公民館で文化連盟の各種団体が活動をして、講座を通して新しい方入ってくる。できるだけ若い方に楽しんでいただけるような講座を作りたい。</p> <p>委員 人口減少、少子化が一番難しい話で、一気に解決できる問題ではないが、阿木の活性化の方法を考えていかなければならない。</p> <p>委員 教科書に書いたような提言書(案)だか、阿木の実態も詳しく書いてある。いまは65歳までは働く時代。退職してからでは公民館活動も限られてしまう。公民館を指定管理で運営するという記載もあるが人材的に難しい。阿木ではまちづくり協議会に準ずる組織として、「いきいきねっと」があるが区長会と兼ねており、現状で受けることは困難である。公民館の職員の方にごんばっていただいて、特にこの阿木の歴史の継承に力を入れてやってもらいたい。何とか阿木の活性化のために、協力はしていきたいと思う。</p>	

委員 人口減少は切実で、保育園でも入園者がひとケタになりつつあると聞いている。こういった会議で地域おこしや人材発掘をしながら地域活性化につなげていくことが大事だと思う。来年から阿木だけではなくて中津川市全体でコミュニティスクールがはじまる。もっと地域の人に学校に入っても頂き地域と学校と一緒に子どもを育てていくことになる。

委員長 阿木には良い人材が揃っている。いろんな方々を生かして盛り立てて、少しでも若い世代に阿木っていい所だと思ってもらいたい。

委員 子どもたちに阿木を好きになってもらいたい。出て行っても帰ってきたいような阿木になれば良い。

委員 祭などの行事は子どもも準備等に参加しており、地域伝承の場として、若い世代への橋渡しの役割を担っていたとおもう。コロナ禍で行事が縮小される中でそのことを実感できた。三世代交流事業の代替として実施した地域遺産を廻るクイズラリーも阿木をしてもらうには重要なもの。

委員長 埋もれているものを掘り起こして、若者世代に引き継いでく、そんなような作業も大事。親たちが頑張っている姿(楽しんでいる姿)を子供たちみせるのも大事。

いろいろと話が出たが、こういう形で提言する中で、公民館との関わり方や、予算、人材についても委員の方に相談できる体制を整えつつ、出来ることから実施していただきたいということで、公民館へ提言することに異議ありませんか。

各委員 異議なし

委員長 異議なしということで原案のとおり公民館に提言する

3 その他

事務局 公民館利用者アンケートを行っている。また11月12日には阿木公民館みちくさ図書室まつりを実施する予定。

また、今回の議事録を公民館のホームページに掲載する

委員長 今日は、提言書をメインに協議したが、何を重点にどう計画をたてていくか、方向づけをし、順序たててやってほしい。少ない人数と少ない予算であるが、若い世代のためにひと踏ん張りしたいと思う。よろしくお願ひしたい。

事務局 3月の運営委員会のときに提言内容について、どれだけのことができるのか提示したい。

以上